

をおこないました。

会場には、各地の寺院出土瓦を持ち寄っていただき、実物を前にして活発な意見が交わされました。こうした積み重ねにより、従来、文様に偏りがちであった瓦研究に、新たな局面を切り開くことを期待しています。あわせて、開催にあたりご協力いただいた関係者・関係機関にあつく御礼申し上げます。

(飛鳥藤原宮跡発掘調査部)

研究会の開催

古代瓦研究会第5回シンポジウム

飛鳥藤原宮跡発掘調査部では、日本最古の寺院である飛鳥寺(588年創建)の瓦を皮切りに、古代の瓦を製作技法の面から見直そうという試みをつづけています。1998年以降、それに関わる4回のシンポジウムを奈文研で開催しましたが、6月23・24日の両日には、会場をはじめて千葉大学に移し、山田寺式軒瓦の東国への展開をテーマに、研究報告と討議



シンポジウム会場全景